

社会資本総合整備計画 事後評価書

平成27年11月9日

計画の名称	1 歩いていける身近な公園の整備 / 1 歩いていける安全・安心な公園の整備
計画の期間	平成22年度 ~ 平成26年度 (5年間) 交付対象 矢掛町
計画の目標	

本公園は、昭和58年度に供用開始し、スポーツやレクリエーションの中心的な施設として幅広く町民に親しまれているが、高齢化社会への対応・週休2日制の定着・余暇時間の増大などの社会環境は大きく変化しており公園緑地に求められている役割も多様性を見せている。  
 このような状況の中で、本公園においても幼児から高齢者に至るまでの幅広い利用者を意識し、憩いの場・安らぎの場としての機能やイベントへの対応が求められていることから、公園区域を拡大し、安全性、利便性、快適性を向上させ、質のよいサービスを提供、利用促進を目指す。  
 また、矢掛町地域防災計画等において位置づけられた避難地である都市公園の整備を行う。  
 さらに、老朽化した公園施設の更新を行い、より安全・安心で快適な公園を整備し、公園の利用促進を図る。

計画の成果目標（定量的指標）

公園内の施設利用回数279回/年（H21末）から500回/年（H26末 供用後1年目）に増加させる。  
 施設利用人数を8,661人/年（H21末）から15,000人/年（H26末）に増加させる。  
 避難地である都市公園の面積を7.0ha（H21末）から16.6ha（H26末）へ拡充する。  
 老朽化により改築更新が必要である公園施設の改築・更新公園数を0公園（H24当初）から1公園（H26末）へ増加させる。

定量的指標の定義及び算定式

定量的指標の現況値及び目標値

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値			備考					
	当初現況値 (H21末)	中間目標値	最終目標値 (H26末)						
施設利用回数を測定する	279回/年	-	500回/年	※公園面積の当初現況値はH24当初					
施設利用人数を測定する	8,661人/年	-	15,000/年						
避難地として整備された都市公園の面積	7.0ha	-	16.6ha						
公園施設の改築・更新を行った公園数（箇所）	0	-	1						
全体事業費	合計 (A+B+C)	1503 百万円	A	1494 百万円	B	C	9 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	0.6%

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
本町建設課内及び公園管理部局にて評価を実施、第三者意見を聴取し、反映させた。	平成27年11月
	公表の方法
	矢掛町HPにて公表

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業

A1 公園事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考	
									H22	H23	H24	H25	H26			
1-A-1	公園	一般	矢掛町	直接	矢掛町	都市公園事業（矢掛町総合運動公園）	公園建設 16.6ha 既設公園施設の改築	矢掛町						1,374		
1-A-2	公園	一般	矢掛町	直接	矢掛町	矢掛町公園施設長寿命化計画	都市公園（1公園）の長寿命化計画策定	矢掛町						3		
合計													1,377			
B 関連社会資本整備事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
										H22	H23	H24	H25	H26		
合計																
番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考	

C 効果促進事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考
										H22	H23	H24	H25	H26		
1-C-1	公園		矢掛町				施設案内板・掲示板の設置		矢掛町						9	
										合計			9			
番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考
1-C-1	都市公園事業（1-A-1）と併せて周辺道路に施設案内板の設置・園内に掲示板を一体整備することにより、来園者の利便性を高めることができ、また、利用者数の増加が期待できる。															備考

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況													
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況			公園整備と併せて周辺道路及び公園内に案内板・掲示板を整備した結果、来園者の利便性が向上し、また、利用者数が増加した。										
II 定量的指標の達成状況	施設の利用回数 (回/年)	最終目標値	500回	目標値と実績値 に差が出た要因									
		最終実績値	1,749回										
	施設の利用人数 (人/年)	最終目標値	15,000人	目標値と実績値 に差が出た要因	児童遊園施設、芝すべり施設の利用人数が多く、目標値との大きな乖離（約7.5倍）が発生した。児童遊園施設（62,635人）及び「芝すべり施設」（25,054人）の利用人数を除くと24,200人となり、目標値の約1.6倍となる。ただし、回数集計期間（H26年4月～H27年3月）中のうち9ヶ月間は改修工事のため野球場の使用ができなかったため、その事情を加味すると25,000人以上になる見込みであり、目標値を大幅に上回る成果があったといえる。								
		最終実績値	111,889人										
	都市公園の面積 (ha)	最終目標値	16.6ha	目標値と実績値 に差が出た要因									
		最終実績値	16.6ha										
	施設の改築・更新を行った公園数 (箇所)	最終目標値	1箇所	目標値と実績値 に差が出た要因									
		最終実績値	1箇所										
	III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)			町外からの利用者が想定より多く、町の情報発信の場としての役割も期待されている。									
	3. 特記事項（今後の方針等）												
<p>今後は、公園施設長寿命化計画に基づき、施設の維持・修繕・更新を効率的かつ効果的に実施していく。 また、地域住民の交流の場、レクリエーションの場として有効に活用すべく、適正な管理に努める。</p>													